

説教

聖日礼拝

北浜チャーチ

黒田 禎一郎

2019年10月20日（日）

主 題：「耐え忍びなさい」

—主が来られる時まで—

テキスト：ヤコブ5章7、8節

はじめに

- ・「災い」という言葉があります。今回の台風19号は、「災い」でしょう。
東日本各地を襲った台風19号は、現時点（10/17午後5時現在）で死者数78名、負傷者数362名、行方不明者16名です。この悲惨な状況に私たちは言葉を失います。
- ・「災い」には避けられないもの（天地異変、自然災害等）と、避けることが可能（戦争、争い等）なものがあります。前者は今回の災害です。人力ではどうすることもできないものです。後者は、これまで人類史がかかえてきた争い（戦争）です。戦争によって、どれだけ多くの人命が失われてきたことでしょうか。そして今も、その戦争はつづいています。この後者は避けることは可能です。
- ・ところで日本は今、もっとも平和な時代を迎えています。
74年以上にわたり戦争はなく、経済は世界第3位の経済大国となりました。
多くの国民が中流意識を持っていると言われます。今も戦火の混乱下にある国々を見るならば、平和と言えるでしょう。もちろん、個人的には問題があり、戦いの渦中にある人もおられます。しかし、世界的視野で見ると、私は平和な時代と言えると思います。
- ・ところが人間という者は、平和の中にいると「平和ずれ」してしまいやすいものです。
この世の事（快楽や世の楽しみ等）に、心を奪われてしまいやすいものです。そこで神のことを考えるより、自分本位となり、神より自分のことを考えるものです。
- ・ましてや、イエス・キリストの再臨などを考えようとはしません。
いいえ、約2000年前のクリスチャンも、そのようでした。前回、ヤコブの手紙5章で、ヤコブは次のように言いました。
5:1 金持ちたちよ、よく聞きなさい。迫り来る自分たちの不幸を思って、泣き叫びなさい。
5:5 あなたがたは地上でぜいたくに暮らし、快楽にふけり、屠られる日のために自分の心を太らせました。
- ・当時、経済的に栄えたユダヤ商人たちが多くいました。彼らはパウロの伝えたキリストの福音からも離れていました。ヤコブはそういう風潮の中で、キリストの最も大切な教えの一つである再臨を、ないがしろにすることがないように、忍耐をもって待ちなさいと勧めました。
- ・なぜなら、人生で忍耐ほど大切なことはないからです。忍耐と我慢は違います。

我慢は自分の力で努力し、耐えることです。しかし忍耐は、神に助けられ、励まされてできるものです。これは心が打ち砕かれ、謙遜になってはじめて可能となるものです。ヤコブがここで教えている「**主が来られる時まで、耐え忍びなさい。**」とは、我慢ではなく、神に助けられる忍耐のことです。

- ・それでは、主が来られる時（再臨）まで、耐え忍ぶことを学びましょう。

大切なポイント

1. 再臨が強調される理由

1) イエスの再臨

- ・イエスの再臨は、なぜ強調されたのでしょうか。

① イエスが約束された

- ・イエスは福音書の中で何度も、再臨の約束を言われました。

ヨハネ 1 4 章

14:18 わたしは、あなたがたを捨てて孤児にはしません。あなたがたのところに戻って来ます。

- ・イエスは何度もご自分は十字架にかかり、その後復活し、父なる神のみもとに帰るが、もう一度この世に来ることを話されました。イエスを目の当たりに見た初期のクリスチャンたちは、そのことばを堅く信じていました。

2 ペテロ 3 章

3:9 主は、ある人たちが遅れているとと思っているように、約束したことを遅らせているのではなく、あなたがたに対して忍耐しておられるのです。だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

- ・イエスの再臨は、なぜ強調されたのでしょうか。

② 後世に伝える必要があった

- ・イエスは群衆が見ている前で、オリーブ山から天に帰られました。それから、1年、2年、3年と、時が過ぎてゆくにしたがい、当然ながらイエスに直接お会いしたことの無い人が増えていきました。そういう人々の中から、先輩たちはそう言うけれども、私たちにはピンとこないと言う人たちが出てきたに違いないと思います。
- ・私は家内と結婚し早くも46年の年月が経過しました。私たちの息子たちは、もう40歳代半ばになっています。その息子たちに、40年ほど前の昔話しをしても、ピンとこないものです。時代がすっかり変わってしまったからです。
- ・聖書の時代にも同じように、「私はイエスにお会いしました。イエスは十字架にかかられたが、復活された。そして私たちの目の前で天に帰られたのです。そのお方が、もう一度来られると言われていたのだ。」と、どんなに強調されても、どうも信じられないなあ、と言う人たちが出てきたのではないのでしょうか。
- ・戦争体験が風化していき、子どもたちは「関係ないよ」と言われるなら、そうであればあるほど、語り継がなければいけないと思うものです。イエスがもう一度来られることが信じられないという人が現れば、使徒たちはなおさらイエスの再臨を強調し、書き

留めようとしたと思います。

- ・イエスの再臨は、なぜ強調されたのでしょうか。

③迫害下の聖徒に慰め、励ましであった

- ・このヤコブの時代、クリスチャンに対する迫害がありました。今日のテキストで強調されていることは、「耐え忍びなさい」です。何を耐え忍ぶよう言われているかという点、それは迫害されている苦しみです。
- ・当時は、ローマ帝国によるキリスト教徒弾圧がありました。それがどんなに厳しいものであったかは、当時の歴史書に詳しく書かれていますから知ることができます。
- ・クリスチャンへの迫害は現代にもあります。迫害と世界度第一は北朝鮮ですが、世界では約50カ国が迫害下に置かれています（宣教団体：Open Doors 発表）。私は1970年代から苦しみの下にある聖徒への重荷が与えられ、「宣教の声」という月刊誌を長年発行しています（詳細は紙面をお読みいただきたい）。
- ・迫害の中にあつたからこそ、使徒たちは再臨のことを強調し、イエスにお会いできる慰めと励ましを語ったに違いないと思います。このように、イエスの再臨には少なくとも3つの理由がありました。
- ・では、私たちは再臨をどう生きるべきでしょうか。

2) 再臨を受け止める理由

①神の約束は変わらない

- ・神が聖書に書かれてことは確かであり、一点も変わることはありません。神の約束は昔も今も変わることはありません。そしてこれからも、変わることはないと信じています。
- ・再臨は神の大きなご計画と、約束の中に組み込まれています。すでに神のマスタープランに打ち込まれていますから、もう変更されることはないのです。

②神は御心の中で、その時を計っておられる

聖書は次のように述べています。 **2ペテロ3章**

3:8 しかし、愛する人たち、あなたがたはこの一つのことを見落としてはいけません。

主の御前では、一日は千年のようであり、千年は一日のようです。

3:9 主は、ある人たちが遅れていると思っているように、約束したことを遅らせているのではなく、あなたがたに対して忍耐しておられるのです。だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

3:10 しかし、主の日は盗人のようにやって来ます。その日、天は大きな響きを立てて消え去り、天の万象は焼けて崩れ去り、地と地にある働きはなくなってしまいます。

3:11 このように、これらすべてのものが崩れ去るのだとすれば、あなたがたは、どれほど聖なる敬虔な生き方をしなければならぬことでしょう。

3:12 そのようにして、神の日が来るのを待ち望み、到来を早めなければなりません。

その日の到来によって、天は燃え崩れ、天の万象は焼け溶けてしまいます。

3:13 しかし私たちは、神の約束にしたがって、義の宿る新しい天と新しい地を待ち望んでいます。

3:14 ですから、愛する者たち。これらのことを待ち望んでいるのなら、しみも傷もない者として平安のうちに神に見出していただけるように努力しなさい。

3:15 また、私たちの主の忍耐は救いであると考えなさい。愛する、私たちの兄弟パウロも、自分に与えられた知恵にしたがって、あなたがたに書き送ったとおりです。

3:16 その手紙でパウロは、ほかのすべての手紙でもしているように、このことについて語っています。その中には理解しにくいところがあります。無知な、心の定まらない人たちは、聖書の他の箇所と同様、それらを曲解して、自分自身に滅びを招きます。

3:17 ですから、愛する者たち。あなたがたは前もって分かっているのですから、不徳な者たちの惑わしに誘い込まれて、自分自身の堅実さを失わないよう、よく気をつけなさい。

3:18 私たちの主であり、救い主であるイエス・キリストの恵みと知識において成長しなさい。イエス・キリストに栄光が、今も永遠の日に至るまでもありますように。

- ・「千年は1日のごとく、1日は千年のごとく」という有名なことばです。

ある方は、もう2千年もたったしまった、という方もおられるでしょう。

しかしこれは一つの表現であり、主の前では千年が1日びったりと当たるというものではありません。仮にそう考えるならば、主の前では2千年も2日のようだという事です。

- ・つまり、私たちはもう2千年経ってしまったという感覚の中に、生きるものではないということです。今は科学の時代に入り、またAI時代にもなりましたが、イエスの再臨は少しも変わらない約束です。神はみことばにありますように、一人でも多くの人が神に立ち返るように、その日を遅らせてくださっているのだと、受け止めるべきです。もう一点、大切なことがあります。

③世界の現実が聖書どおりに動いている

・ 2ペテロ3章

3:10 しかし、主の日は盗人のようにやって来ます。その日、天は大きな響きを立てて消え去り、天の万象は焼けて崩れ去り、地と地にある働きはなくなってしまう。

- ・これは今、時代ともに実現しつつあります。確かに科学は進歩しました。しかし人間は科学を過信し、また誤った使い方をした結果、ご存知のように爆弾が作られ、公害問題が生じてきました、みことばにあるようなことが現実的になってきていることを、私たちは心に留めておかねばなりません。
- ・もっとも顕著なものは、1948年パレスチナにイスラエル国が誕生したことです。ユダヤ人はAD70年、世界中に散らされてしまい、もう彼らも国ができるはずないと思われていました。それにもかかわらず、イスラエル国家の再建が現実となった事実を、私たちは見落としてなりません。神は生きておられ、歴史に介入し歴史の鍵を握るお方であることを、忘れてはいけません。



<100年前のテルアビブ>

- このように聖書は、イエスがもう一度来られ大計画を約束しています。そして、なぜ再臨めるべきか理由も挙げています。では、私たすれば、よいでしょうか……。そこで大切聖書のみことばを信頼することです。
- 聖書は次のように勧めています。
テルアビブ>



るという
を受け止
ちはどう
なことは

<現在の

2. 耐え忍びなさい

5:7 ですから、兄弟たち。主が来られる時まで耐え忍びなさい。見なさい。農夫は大地の貴重な実りを、初めの雨や後の雨が降るまで耐え忍んで待っています。

ヤコブ

- 「主が来られる時」とは主の再臨です。パウロは彼の手紙の中で、この「主が来られる時」について、たびたび記しています。

1テサロニ2章

2:19 私たちの主イエスが再び来られるとき、御前で私たちの望み、喜び、誇りの冠となるのは、いったいどれでしょうか。あなたがたではありませんか。

Iテサロニケ 3章

3:13 そして、あなたがたの心を強めて、私たちの主イエスをご自分のすべての聖徒たちとともに来られるときに、私たちの父である神の御前で、聖であり、責められるところのない者としてくださいますように。

アーメン。

- しかし申し上げたように、イエスが昇天されて早くも30年以上も経っているのに、再臨の兆候さえありませんでした。そこで大切なことは、忍耐であります。
- 5:7 ですから、兄弟たち。主が来られる時まで耐え忍びなさい。見なさい。
農夫は大地の貴重な実りを、初めの雨や後の雨が降るまで耐え忍んで待っています。
- ここに「秋の雨、春の雨」とありますが、ギリシャ語では「はじめの雨と、後の雨」です。地中海沿岸一帯は、地中海性気候と言われます。年間雨量は約600ミリ前後です。はじめの雨とは秋（10月、11月）に降る雨のことです。そして後の雨とは、春（3月、4月）に降る雨のことです。
- パレスチナの地は、エジプトやメソポタミアとは異なり、川から水を引くことができません。したがって、作物のでき具合は「はじめの雨から後の雨」の間に降る雨にかかっています。
- 旧約聖書は次のように述べています。

申命記 11章

11:10 なぜなら、あなたが入って行って所有しようとしている地は、あなたがたが出て来たエジプトの地のようにではないからである。エジプトであなたは、野菜畑できるように、自分で種を蒔き、自分の力で水をやっていた。

11:11 しかし、あなたがたが渡って行って所有しようとしている地は、山と谷の地であり、天からの雨で潤っている。

11:14 わたしは時にかなって、あなたがたの地に雨、初めの雨と後の雨をもたらす。あなたは穀物と新しいぶどう酒と油を集めることができる。

11:15 また、わたしはあなたの家畜のため野に草を与える。あなたは食べて満ち足りる。

- ユダヤ人の農夫たちは、天からの雨をじっと忍耐し待ったのでした。

5:8 あなたがたも**耐え忍びなさい**。心を強くしなさい。主が来られる時が近づいているからです。 **ヤコブ**

農夫がじっと忍耐し天からの恵みの雨を待っているように、心をぐらつかせないで、しっかりとしていなさい。なぜなら、主の来臨は近いからです。とヤコブは勧めました。

ま と め

主 題：「耐え忍びなさい」

—主が来られる時まで—

- 今日**は耐え忍ぶ**という大切な教えをいただきました。忍耐は私たちにとって、大変つらいことです。苦しみ、痛みの試練の下で、私たちはどうすればよいでしょうか。それは神のみことばを信頼することです。
- そこで、今日は次の聖句でまとめとしたいと思います。

5:8 **あなたがたも耐え忍びなさい**。心を強くしなさい。主が来られる時が近づいているからです。

- God bless you